

流通業向けのウェブ版情報交換サービス

中島和則

NRI野村総合研究所は、小売りと卸との間の汎用データ交換システムとして20年近い歴史があるVAN(付加価値通信網)サービスシステムにインターネット技術を活用し、低コストで、かつ簡単にサービスを提供する仕組みを実現した。本稿では、情報共有・運用情報サービスがインターネットのウェブ上で受けられる「Garden-VAN21」(ガーデンVAN21、略称GV21)について述べる。

NRIのVANサービスの歴史と経緯

NRI野村総合研究所のVAN(付加価値通信網)サービスは、約20年間の歴史がある。小売りと卸・メーカーとの間でのデータ交換を行うもので、「CV」というシステム名称で呼ばれていた。現在の利用企業数は小売り100社、卸1000社に上っている。

従来、中小の卸の一部には、小売り側のシステム変更に即応できなかったり、通信速度が2400bps(ビット/秒)にすぎず時間がかかったり、古い機器を使っていて西暦2000年問題をクリアできないといった企業が見られた。また、小売り、卸、NRI間で発注の遅延時やトラブル発生時に相互連絡に手間がかかり、不正確な情報が伝わってしまう恐れもあった。

こうした課題を解決するため、

専用のハード、ソフトを必要としない、端末プログラムの配布が簡単にできる、運用負荷がかからない、小売り、卸、NRI間で情報が共有できるといった目標を設定した。そして、インターネットのウェブ技術を適用して、全面的にCVシステムの再構築を行い、利用者が低コストで、かつ簡単にサービスを受けられる「Garden-VAN21」(ガーデンVAN21、略称GV21)を完成した。

これにより、利用者(小売りと卸)は、特殊なソフトウェアを必要とせず、インターネットを使って、データ受信を行うとともに、小売りの発注処理の進行状況や、卸の受信状況などの運用状況を確認することができる(図1)。

GV21のサービスの特徴
GV21は次の3つのサービスを

提供する点に特徴がある。

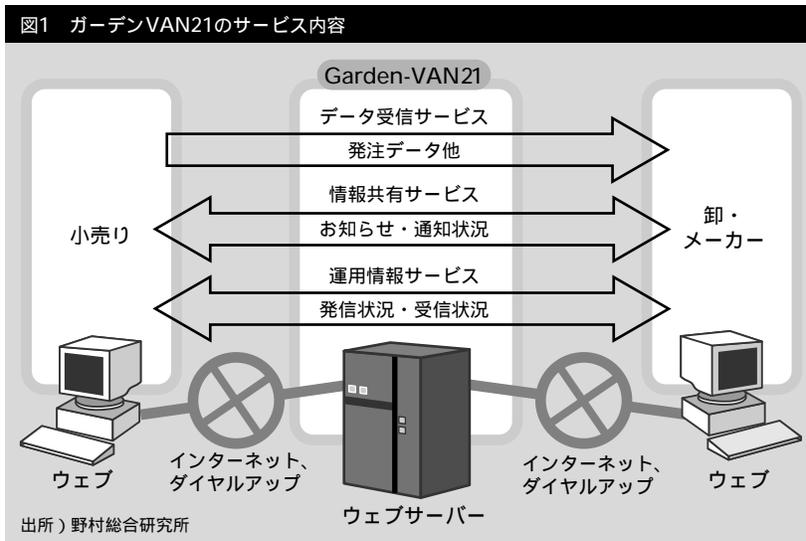
(1) データ受信サービス

これまでファクシミリで受注していた卸や、受信ソフトの購入費用が負担となっていた卸などが、インターネットでデータを受信し、伝票発行ができるサービスである。卸は、パソコンをインターネットに接続するだけですぐ利用できる。当然そのパソコンは、普段は事務処理用などに使える。万一そのパソコンが壊れても、GV21は、他のOA用パソコンで、簡単に代用することができる。

また、大型汎用機などで通常、データの受信を行っている卸では、あらかじめ契約すれば、大型汎用機障害時の予備として、パソコンで受信サービスを受けられる。

各小売り用の伝票発行プログラムが用意されており、必要に応じて

図1 ガーデンVAN21のサービス内容



パソコンへダウンロードすることが可能である。

また卸側の、発注データをCSV（カンマ区切り）形式で受信したいとか、請求データ、出荷案内データを作成したいといった要望に対しても、選択肢を用意しており、多様なニーズにも応えられる。

(2) 情報共有サービス

小売りからのニュース、連絡などを、卸にインターネットで発信し、情報を共有化できるサービスである。発注トラブル時のファクシミリによる連絡を、当サービスに切り替えるといった使い方もできる。さらに、卸がこの情報を読んだか否かも確認できるので、緊急を要する連絡にも使いやすい。

NRIからは、発注の遅延、不測の障害発生時などに、対応状況を

知らせることにしている。

(3) 運用情報サービス

NRIのVANサービスの運用状況をインターネット上に公開するものである。小売りの配信データの作成時間、データの件数、卸の受信時間が、当日分から過去1週間までさかのぼって閲覧できる。

従来は、卸からデータの有無や件数の問い合わせが頻繁にあった。しかし、GV21によって、小売り、卸、NRIそれぞれの都合に合わせて確認できるようになり、確認に必要な時間が削減された。

GV21のシステム技術

GV21のシステム技術の特色は、標準化されたインターネット技術を使っていることにある。クライアント側のベース技術として

「アクティブX」（米国マイクロソフト社が開発したインターネット関連技術の総称）を使い、クライアントとサーバーとの通信プロトコルとして、HTTP（ハイパーテキスト・トランスファー・プロトコル）を使っている。

ネットワーク上は、暗号化プロトコルとしてSSL（セキュア・ソケット・レイヤー）を使用し、NRIが第三者認証機関の認証証明を取得して、セキュリティについて十分な配慮をしている。

GV21の将来展開

GV21の新サービスの延長線上に考えられるものとして、インターネットを使った商品情報交換や、サプライチェーン・マネジメントにおける販売・在庫情報の相互提供などがある。

GV21は、ウェブサーバーを使って、幅広い業務アプリケーションを容易に構築できるため、今後の戦略的なインフラとして活用可能である。

『システム・マンスリー』

1999年6月号より転載

中島和則（なかしまかずのり）
産業システム三部上級システムエンジニア
電子メール k-nakashima@nri.co.jp